



福島県玉川村 企業版ふるさと納税

■玉川村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業■

- ・玉川村乙字ヶ滝かわまちづくり計画複合型水辺施設プロジェクト
- ・たまかわ版スポーツツーリズムによる地域活性化プロジェクト



Access



伊丹空港 → 玉川(福島空港)



東京 → 郡山 → 玉川(泉郷駅)
95min. 95min. 35min.



東京 → 矢吹IC → 玉川IC
120min. 9 min.

Population

2023.1.1時点 6,172人

福島県玉川村

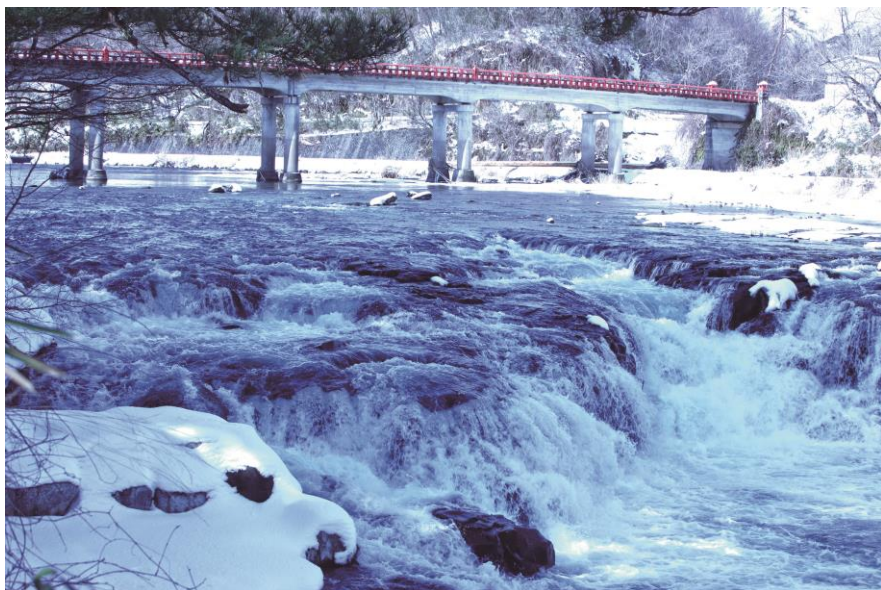
- 福島県の空の玄関口
福島空港が所在する村

- 農産物や特産物

米・トマト・きゅうり・いんげんなどの生産が盛ん
さるなしを使用した加工品（ワイン・ドリンクなど）が名産品



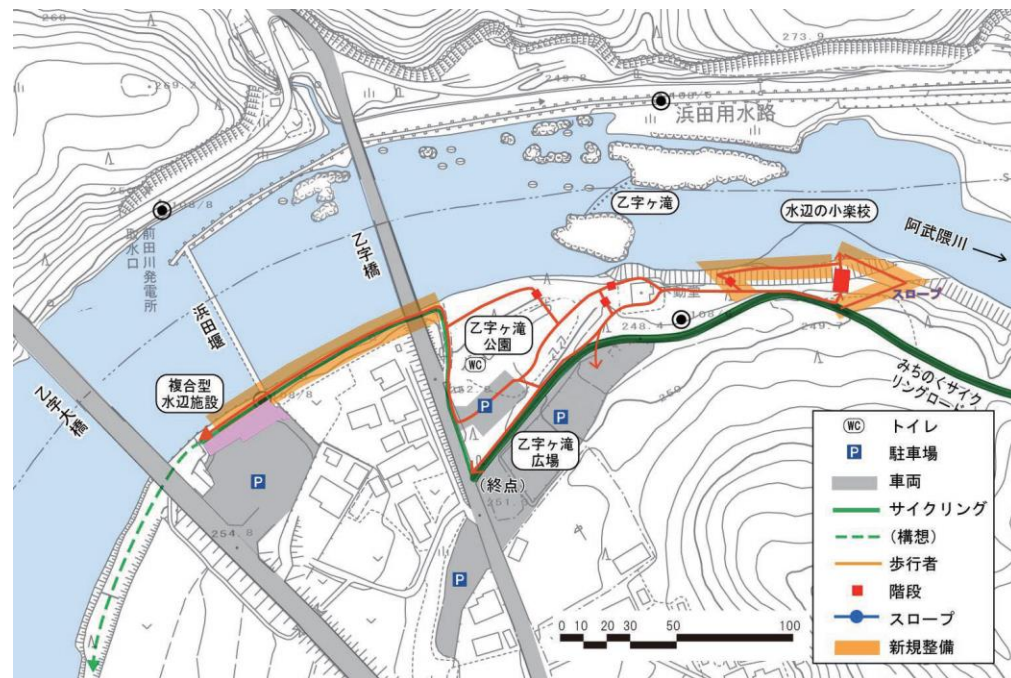
豊かな自然と受け継がれる伝統



玉川村乙字ヶ滝かわまちづくり計画

複合型水辺施設プロジェクト

玉川村では、乙字ヶ滝公園周辺の利活用する事業を展開しています。隈研吾氏の設計建物をリノベーション。PFIにより施設設計・改修・運営を一括発注し、建物と水辺の一体的利活用を計画しています。



乙字ヶ滝公園イベント



乙字ヶ滝公園イベント



カヌー社会実験

玉川村乙字ヶ滝かわまちづくり計画複合型水辺施設プロジェクト



玉川村乙字ヶ滝かわまちづくり計画複合型水辺施設プロジェクト

2 設計業務 (2) 玉川村、本施設、かわまちづくり計画の将来像に合致した平面計画の提案

訪れる人みんなが使いやすい配置・動線計画とし、防災対策等を確実に実現することで、かわまちづくりを支える施設とします

1. 乙字ヶ滝を存分に活用したみんなが訪れたくなる配置・動線計画

1) 施設のどこからでも川が望めるレイアウト

- ・グランドフロア (2F) は川筋の岩を連想させるようなランダムな配置にベンチや家具を配置して、人々のふれあいの空間を演出します。
- ・リバーサイドフロア (1F) は、よりパーソナルな空間で川と食を楽しむレイアウトにします。
- ・カメラ利用者に加え、サイクリング・バスフィッシング利用者などが休憩に利用できるよう、グランドフロアトイレ部にシャワールームを新設します。

2) 訪れる人みんなに優しい施設

- ・エントランスデッキ部にスロープを新設し、バリアフリーを実現します。
- ・グランドフロアとリバーサイドフロアの縦動線となる貨物用EVスペースに人貨用EVを新設し、バリアフリーな動線計画とします。
- ・グランドフロアのトイレ部を増設し、だれでも使える多目的トイレを新設します。
- ・多様な利用者が使用できるよう、SOGsにも配慮します。

3) ヒトとモノの動線を分けた、より安全な施設

- ・ビール工場への搬出入の動線を新たに国道側につくことで、人との動線の交錯を抑制します。
- ・ステキハウスへはグランドフロアの物産を見ながらつながる動線としています。
- ・荷捌きはお客様のバリアフリー動線としてのEVと共用となることから、ステキハウスとグランドフロアの物産関連の利用とすることで使用を抑制します。

2. 水害対策に配慮した確実な防災対策

1) 水害に強い施設への再生

- ・大型台風などによる水害の脅威から建物設備を守る為、リバーサイドフロアのRC部開口部等に止水板 (漏水量による等級基準「Ws-6」) の高さ600mmとして新設します。予報などにより事前に止水板を設置することにより水害から建物設備を守ります。

3. 関連法を順守した確実な改修設計の実施

1) 既存施設を熟知した設計企業が確実に施設設計を実施

- ・原設計を担当し既存施設を熟知している県営吉野事務所が関連法に適合した確実な設計業務を実施します。

4. きめ細かな工事監理により品質と工程を担保

1) 実績豊富な設計企業が工事監理を担当

- ・国内外で実績豊富な県営吉野事務所で構成された工事監理チームが工事監理業務を行うことで、設計・監理を通して正確な設計意図伝達と工程順守を遂行します。

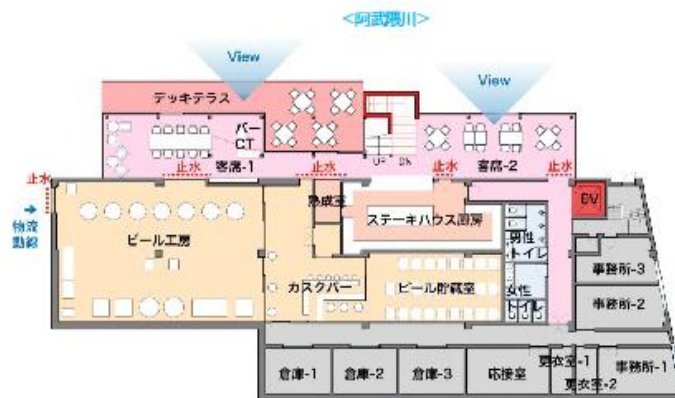
2) 適切な会議体設置による密な情報連携の実施

- ・施工期間中は適切な頻度で施工者との定例会を実施。村への報告体制も整備することで村・事業者間の密な情報共

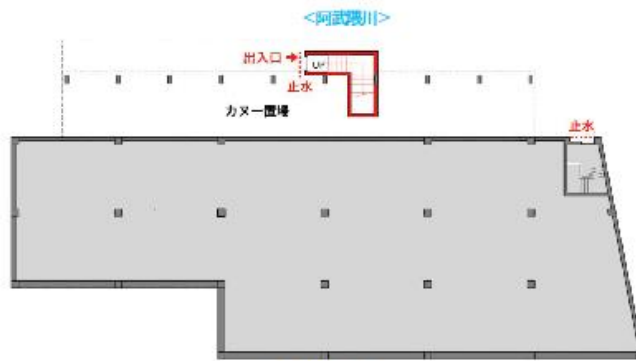
有体制 p.1 を構築します。



グランドフロア・エントランス 誰もが訪れやすいオープンな入口は交流スペースとしても活用



全景 カフェ・レストランなどから自然を感じることができるレイアウト



リバーサイドフロア 有事の際の止水板設置による水害対策により、防災性とデザイン性を両立



玉川村乙字ヶ滝かわまちづくり計画複合型水辺施設プロジェクト

1. 業務全般 (1) 事業の実施方針・コンセプト・地域貢献

事業コンセプト

乙字ヶ滝を活用した みんなが集える水の駅

～ RIVER BASE ～

本事業は、阿武隈川乙字ヶ滝かわまちづくりの目的・テーマである「乙字ヶ滝地区周辺を交流拠点に」「乙字ヶ滝の交流拠点を、村内の各観光拠点と結び、周遊性を主体とした利活用を進める」を踏まえ、乙字ヶ滝地区が自然・歴史・交流の拠点となる、施設の創造と機能の導入を行います。地域の Hub となり村内の各「駅」をつなぐことで乙字ヶ滝に構える「RIVER BASE」が核となり村全体を活性化します。本施設が乙字ヶ滝地区の自然と歴史を活かした新たな交流拠点となるために事業コンセプトと3つのテーマに基づく事業を実施します。

体験と交流

● 新たな“アクティビティ”と地域の“食”の体験を活かした遊びの発信と交流の場の創出

阿武隈川の自然を活かしたカヌー体験などのアクティビティや、地域の名産を活用したカフェ・レストランが楽しめる「RIVER BASE」が核となり、村の多様なコンセプトを創出した様々な場をつなぎます。村全体で交流を生み出す施設となることで、川の新たな賑わいを創出します。

地域の発信

● 地域を繋ぎ周遊性を生み出すことで、新たな玉川村を創出

地域の観光主要拠点を繋ぐ遊びと情報発信の拠点とします。森の駅「yodga」をはじめとして、子どもの駅、道の駅、健康の駅などの拠点と連携し地域をつなぐ連携を実施。地域食料を積極的に活用し、地産地消への貢献、村内に本店を構える「あぶくまビール」の活用により、地域の発信を促進します。

歴史の継承

● 既存施設の価値を継承した施設整備

四半世紀の歴史を有する防衛施設の価値を継承するために、原設計を担当した「環境芸術都市設計事務所」が本施設のリニューアル設計を担当し、歴史を継承しつつ新たな価値を創造します。乙字ヶ滝との風景に調和する新たな施設が村の玄関口に立ち、人々を玉川村に迎え、そしていざないます。

たまかわ版スポーツツーリズムによる 地域活性化プロジェクト

～日本一自転車好きな村を目指して～

サイクルヴィレッジたまかわ事業

レンタサイクル事業

- レンタルバイク
- ガイドツアー（ロード・トレイルコース等）
- ふるさと納税に関する事業
- イベント開催



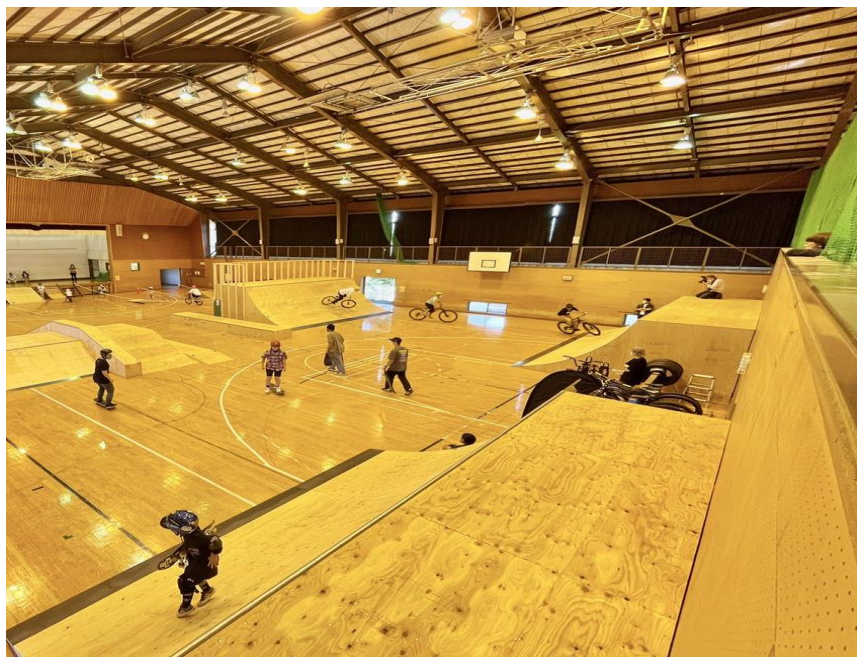
たまかわ版スポーツツーリズムによる 地域活性化プロジェクト

～日本一自転車が好きな村を目指して～

サイクルヴィレッジたまかわ事業

アーバンスポーツたまかわ事業

- BMX等スポーツ屋内フィールドの管理運営
- セクションの維持管理
- 施設利活用PR
- イベント開催



たまかわ版スポーツツーリズムによる 地域活性化プロジェクト

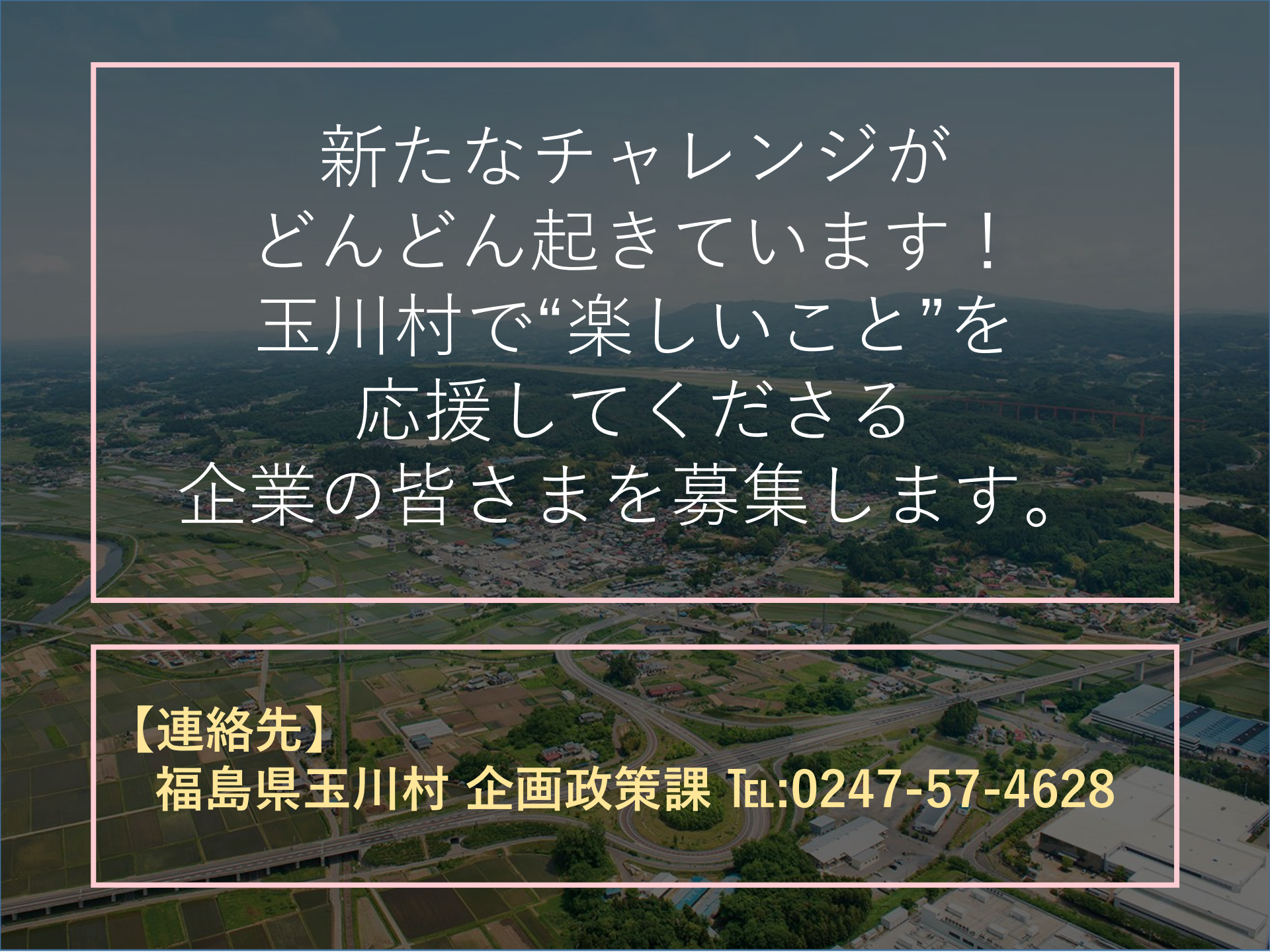
～日本一自転車が好きなたまかわを目指して～

サイクルヴィレッジたまかわ事業

スキルパークたまかわ事業

- ダートパンプトラックフィールドの管理運営
- フィールド活用した集客事業 Dayキャンプ
- 地域や福島空港との連携
- イベント開催





新たなチャレンジが
どんどん起きています！
玉川村で“楽しいこと”を
応援してくださる
企業の皆さまを募集します。

【連絡先】

福島県玉川村 企画政策課 TEL:0247-57-4628